

有利販売の一考察について

鷹巣署事業課

野呂田初男

○ 三上 健

金沢 国郎

佐々木武美

畠山 克己

はじめに

鷹巣署はこれまで、高品質、準高品質な材を中心に生産を行なってきましたが、その収穫量は減少する方向にあります。

貴重な資源である天然秋田スギ及び高齡級の秋田スギ、ケヤキ等有用広葉樹を今後一層有効に活用して行くためには、その生産、販売方法の有利性の検討が不可欠と考え、いくつか取り組んでみたものについて、データ等報告します。

ケヤキの生産販売について

全般的に木材の市況が低迷する中で、地域によってケヤキが高値で人気を呼んでいることに着目し、当署においても、搬出に可能なケヤキが見られたので、昨年度の実績からも有る程度の評価が得られる材質であることを期待し、当初計画はしていなかったが、直営生産事業で作業仕組み等の検討を重ねて実行してみました。生産量及び林分状況は、表-1のとおりです。

委託販売には、高樹齡の高飯戸沢のケヤキ（推定約180年）を、当署最終販売（貯木土場公売）には、弥兵工沢のケヤキ（推定約120年）を出品しました。

生産量 44.048 m^3 のうち昨年12月委託販売 13.938 m^3 最終販売（貯木土場） 4.726 m^3 を出品してみた結果、表-2、3のとおりとなっています。

署の公売結果は、径級範囲18～42cm 長級範囲2.1～6.8m のものを12口、25本、 10.124 m^3 のうち落札は半数の6口、14本、 4.726 m^3 その単価は75.1千円でありました。

委託販売結果は、径級範囲20～90cm 長級範囲2.1～6.0m のもの

を14口、24本、13.938m³ 出品し全量完売出来、販売単価270.4千円/m³ でありました。

結果的には、予想した以上に委託販売と署公売との間に開きがありました。これは勿論、径級、長級、材質および販売地点の差異等様々な要素が考えられますが、この結果から以下のことが推測されます。

1. 径級40cm以上の大径材は、ケヤキの用途の多様性から極端に高価格なものが出る。
2. 人気の指標となる入札枚数についても、径級40cm以上のものに多くなっている。
3. 径級が大きいほど高価格となるが、径40cm以下では一概にはいえないと考えられる。
4. 高価格で落札された高飯戸沢のケヤキは、樹皮の様子から空が出ており色も赤味がかかった良い色合いで銘木級と、判断された。(写真参考)
5. 年輪巾を比較すると、高飯戸沢のケヤキ大径木は平均2.5mmに対し、弥兵エ沢ケヤキ大径木は平均1.8mmであるが、大阪営林局計画課監査官 有岡利幸氏がとりまとめた『ケヤキ林の育成技術の体系化』で報告されているケヤキの性質、すなわち、【ケヤキは環孔材であり、年輪巾が大きいほど材の比重が高くなって材質が良くなるという性質をもっており、針葉樹の年輪巾が小さいほど材質が良くなるという性質とは相反する。】という面と合致している。
6. 上述の径級とは異なり、長級については、価格との関連性はあまりみられない。
7. 上記の観点から、委託あるいは最終販売において、量をそろえるということよりも、単木的に良いものを良い採材により販売する方が有利な面がある。
8. 林地条件としては、一般的にケヤキ生育に適しているといわれる条件には、高飯戸沢の方が近い状況にある。
人工造林杉と混交しており、下枝高が高くなる条件にあり、肥大生長が促進されている。

天然秋田スギ根空の販売について

これまでは天然秋田スギ一般材を生産主体に伐出してきた生産諸負箇所の中から根空生産を試み、搬出可能な物件(根株含む)を集材機で搬出し、最終土場に下げ一般競争入札で販売してみました。

当番の7月公売に4口、4本、3.249m³を出品 表-4の物件内容が長、径級とも目をひくもので入札枚数も8~11枚で全物件中、高価格で落札されました。

物件の予定した価格をはるかに上回る 886.8千円という落札価格で、m³単価272.9千円という結果になっています。

その後、気を良くし再度挑戦したところ、物件は小振りの関係もありまして、9~10月公売は(入札枚数3~8枚)4口、5本、1.816m³ 156.7千円で落札しました。 m³単価は86.3千円で出品物件の内容から判断して、適当な値段であったと考えています。

◎ 7月公売で実証されましたが、径級1m近い根空は高価格が期待でき一般材に匹敵する価格でありました。

秋田スギ端材の販売について

これまで秋田スギの端材については、層積検知のうえ随意契約で山元販売してきましたが、チップ材の下落で端材の荷動きが停滞してきたことから、販売促進の打開策として特に台風被害区域の84~85年生の端材について径級、長級の大きめなものを職員実行で最終貯木土場に搬入し、公売に出品してみました。

表-5のとおり

公売状況

◎8~10月公売

径級の大きめの物件、小さめの物件と仕訳し、長級は無作為とし1口5~11本程度にまとめ販売した結果、m³当たり7,190円(小さい物件)~19,460円(大きい物件)となり開きがありました。

◎11月公売

長級をそろえ、径級を無作為にして販売したところ、長級40cmのm³単価が11,189円であったのに対し、60cmが20,554円、90cmが27,228円と突出して高かった。

70cm、80cmの端材は60cmより安いという現象が生じました。

このことから、径級が全く無関係ではないが大きめの40cm以上、長級は60cm、90cmの需要が高いことがわかりました。価格が切り材並み、或いはそれ以上と考えれば、根曲がり林分では一考を要する必要があると思われる。

おわりに

近年の木材業界を取りまく情勢はめまぐるしく、そのニーズは多岐にわたっています。公売に参集する人達も出品する物件によって変化しており、天スギ根空についても、スギ端材にしても、ケヤキにしてもその道の業者に公売明細書を送付しながら、多数参加の呼びかけをしました。

天然スギ根空は、木工家具類はじめ用途が広く、一般材に匹敵する値段で販売できるものがあり、秋田スギ端材は、腰板、天井板として引き合いが強く、特に長級60cm、90cmの一定尺物が高価格で売れる傾向がみられ、長級そろえが有利と言えそうです。

ケヤキは、広葉樹の中でも、価値の高い、用途の広い貴重な樹種ですが当署でも、この数年ケヤキを保残する、あるいは複層林として育成する試みを行っています。こうしたケヤキ林施業を有効なものとするためには、どのような材を目的とするかを検討する必要があると考えました。

ケヤキ林育成技術については、前述した大阪営林局有岡氏の報告がありますが、当署鷹巣でも管内に分布するケヤキ林分、および今後造成していくものを含めて、さらに研究を進めていくことが重要です。島根県日原営林署管内の「日原ケヤキ」と呼ばれる赤ケヤキ（本ケヤキ）のような、優れたものを育てていくよう努力したいと考えます。

初期の目的である一層の資源の有効利用に向けて、今後とも種々の試みを重ねて行きたいと思いますが、関係者、特に木材業界の方々のきたんのないご意見、ご指導を賜りたいと考えます。

ケヤキ生産量等

表-1

箇所	林小班	生産量	作業仕組み	林地条件		摘要
				土頭	傾斜	
高坂戸沢	15ぬ	15.504	トラクタ集材	BDD	10°	造スギ林分38年生の中に植生、年輪約180年、台地状 造スギ林分60年生の中に植生、年輪約120年、中腹より上
弥兵工沢	45つ	28.544	トラクタ、M/D	BDD	25°	
計		44.048				

ケヤキ着公売

表-2

区分	口数	長級	径級	本数	材積	落札価格		入札枚数	産地	林齢			
						金額	単価						
12月公売		2.1~2.6	30~38	2	0.564	-	-	2	弥兵工沢	120			
		3.2	40	1	0.512	-	-	1					
		3.4~3.8	30~34	4	1.449	-	-	1					
		4.2~4.6	24~28	3	0.847	50,000	59,032	1					
		4.2~4.4	30~36	3	1.272	140,000	110,063	2					
		4.8	42	1	0.847	-	-	2					
		5.0~5.4	24~28	2	0.711	32,000	45,007	1					
		5.0~5.2	32~34	2	1.113	-	-	0					
		5.8	28	1	0.455	46,000	101,099	1					
		6.8	28	1	0.572	46,000	80,420	2					
		6.0	38	1	0.913	-	-	2					
		4.2~5.8	18~22	4	0.869	41,000	47,181	1					
	計	(6)		(14)	(4.726)								
		12		25	10.124	355,000	75,116						

ケヤキ委託販売

表-3

区分	口数	長級	径級	本数	材積	落札価格		入札枚数	産地	林齢
						金額	単価			
12月公売	14	2.1~2.4	30~18/48	2	0.632	26,500	41,930	1	高坂戸	180
		4.0	46	1	0.846	297,700	351,891	7		
		3.2~3.6	14/32~34	2	0.713	58,500	82,048	1		
		4.2	24~28	2	0.571	24,700	43,257	1		
		5.6	26	1	0.379	15,500	40,897	1		
		2.1~2.4	28~34	1	0.431	12,500	29,002	1		
		4.2	28	1	0.329	13,500	41,033	1		
		2.6~3.6	22~24	3	0.469	16,610	35,416	1		
		2.4~3.2	32	2	0.574	24,000	41,812	2		
		2.4~2.8	24~30	3	0.581	17,500	30,120	1		
		5.4	56/90	1	3.527	2,499,900	708,789	6		
		4.4	54~36/68	1	3.033	678,000	223,541	7		
		6.0	11/36	1	0.778	56,500	72,622	3		
		2.1~5.4	20~28	3	1.075	27,500	25,581	2		
計				24	13.938	3,768,910	270,405			

根柢(天然秋田スギ)公売

表-4

区分	口数	本数	長級	径級	材積	落札価格		入札枚数	産地	林令	
						金額	単価				
7月公売			1.0	100	1.000	300,000	300,000	9	松沢	160	
				(30)							
				100	0.955	268,800	281,466	11			
				104	0.649	159,000	244,992	8			
9月公売	4	4	0.7	96	0.645	159,000	246,512	9			
					3.249	886,800	272,946				
				74	0.493						
				(34)							
10月公売	1	2	0.5	88	0.367	78,800	91,628	7			
				80	0.860		91,628				
				70	0.387	27,800	71,835	4			
				60	0.245	17,700	72,245	3			
計	3	3	0.9	60	0.324	32,400	100,000	6			
					0.956	77,900	81,485				
計	8	9			5.065	1,043,500	206,022				

端材 (秋田スギ) 公売

表-5

区分	口数	長級	径級	本数	材積	落札価格		入札枚数	産地	林齢
						金額	単価			
8月公売	1	0.4~0.7	54~76	5	1.149	10,000	8,703	1	小舟木	85
10月公売		0.4~0.6	36~48	11	1.026	7,380	7,193	1	上大沢	84
		0.4~0.8	40~56	10	1.330	19,120	14,376	2		
		0.4~0.6	40~60	11	1.170	12,600	10,769	1	小舟木	85
		0.4~0.7	36~66	10	1.537	27,650	17,990	2		
		0.4~0.9	44~74	10	2.321	42,000	18,096	2		
		0.4~0.6	34~56	10	1.036	11,000	10,618	1	上大沢	84
		0.5~0.9	38~68	9	1.609	29,600	18,397	2	小舟木	85
		0.4~0.5	40~60	10	1.126	14,600	12,966	1		
		0.4~0.9	44~74	9	1.778	34,600	19,460	2		
			9			12.933	198,550	15,352		
11月公売		0.6	46~64	12	2.222	45,670	20,554	4	小舟木	85
		0.4	42~64	9	1.144	12,800	11,189	2		
		0.9	40~78	13	3.489	95,000	27,228	6		
		0.7	42~78	15	2.968	43,800	14,757	4		
		0.8	40~56	9	1.802	29,000	16,093	3		
			5			11.625	226,270	19,464		
12月公売		0.9~0.5	42~50	18	2.593	38,500	14,848	3	小舟木	85
		0.9~0.4	52~66	26	4.894	83,000	16,960	4		
	2			44	7.487	121,500	16,228			
計	17			197	33.194	556,320	16,780			